

天草家保通信

熊本県天草家畜保健衛生所 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 ファックス番号 0969-24-4393
ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

梅雨あけの遅かった今年。まだまだ、暑い日が続きます。

これからの時期も暑熱対策が重要です！！

8月に入り、やっと夏らしい日差しがもどってきました。同時に気温も上がっています。近年では地球温暖化の影響もあってか、猛暑日も珍しいことではなくなっています。家畜はもともと、高温に弱い性質があるため、このような環境のなかでは大きなストレスをうけ、生産性が著しく低下します。

畜舎環境・・・
樹木や遮光ネット
などの設置
屋根や壁への
石灰塗布
畜舎周辺への
散水
換気扇や扇風機
での送風
家畜への散霧や
散水



飼養管理・・・
密飼を避ける
新鮮な飼料や
水の給与
ビタミンや
ミネラルの添加
涼しい時間帯に
給餌

このほか、中央畜産会のホームページ
(<http://jlia.lin.gr.jp/>)でも優良事例として
低コストで効果が出やすい対策が紹介され
ています。ぜひ、参考にしてみてください。

家畜保健所でも事務所にグリーンカーテン
を作りました。日差しが遮られるだけでも、
暑さは和らぎます。



ご存じですか？動物由来感染症

動物由来感染症とは、動物から人に感染する病気のことです。人畜共通感染症やズーノーシスといわれることもあります。最近よく話題となっているインフルエンザや、毎年発生する食中毒も動物由来感染症に含まれます。現在、動物由来感染症には重要なものだけでも200種以上あるといわれ、近年の自然破壊やペットブームのなかで、その数は増える傾向にあります。

家畜保健衛生所では畜産現場（家畜）や教育現場（学校飼育動物）の衛生検査をとおして、動物由来感染症に対する知識の普及を図っています。

主な動物由来感染症

コンパニオンアニマル（ペット）が原因

狂犬病（犬）、猫ひっかき病（猫）、パストレラ症（犬猫）、サルモネラ症（カメ）、オウム病（小鳥） など

家畜が原因

結核病（牛）、ブルセラ病（牛）、高病原性鳥インフルエンザ（家禽）、大腸菌やサルモネラ菌食中毒 など

野生動物などが原因

エキノコックス病（キツネ）、E型肝炎（シカ・イノシシなど）、レプトスピラ症（ネズミ）、狂犬病（アライグマ・コウモリなど）、ペスト（プレーリードック・リスなど） など

動物由来感染症の予防と対策

過剰なふれあいは避けましょう。

病原体は動物の口や爪の中にある可能性があります。口移しでエサを与えたり、食器などを共有することで感染する可能性もあります。また、遊びのつもりで引掻かれたり、噛み付かれたりしても病気に感染することがあります。動物にさわったあとは、知らないうちに傷口や唾液に触れていることもありますので、手洗いをを行うように心がけましょう。

飼育環境は清潔に保ちましょう。

動物は不潔にしていると病原体が繁殖します。こまめに手入れをすることで、身体を清潔に保ち、まわりのフンやエサの残りなども掃除をしましょう。フンは病原体のすみ家となるため、病気の感染源としても重要です。環境を清潔に保つことで、動物のストレスを減らし病気にかかりにくくすることもできます。

手洗いとうがいをおこないましょう。

動物に触れたあとや、掃除のあとは必ず手を洗い、うがいをするようにしましょう。また、砂場や公園で遊んだあとにも手洗いとうがいをするようにしてください。

動物由来感染症監視体制整備事業（教育現場型）

家畜保健衛生所では毎年、管内の小学校や保育園などで学校飼育動物の検査を行っています（左写真）。検査終了後には、教育関係者を集めて、動物の適正な飼育方法や動物由来感染症について獣医師会の協力をえて講習会も行っています（右写真）。

動物由来感染症は動物に対する正しい知識をもつことで防ぐことができます。動物の管理や病気について解らないことがありましたら、家畜保健衛生所や保健所、最寄りの動物病院などにお尋ねください。

